



禁忌

を犯す。

囚われの少年は

Tsukumo GO  
presents

つくも号

落

白

ちる

群

花

れ

R-18  
成人向け



Adam [ アダム ]

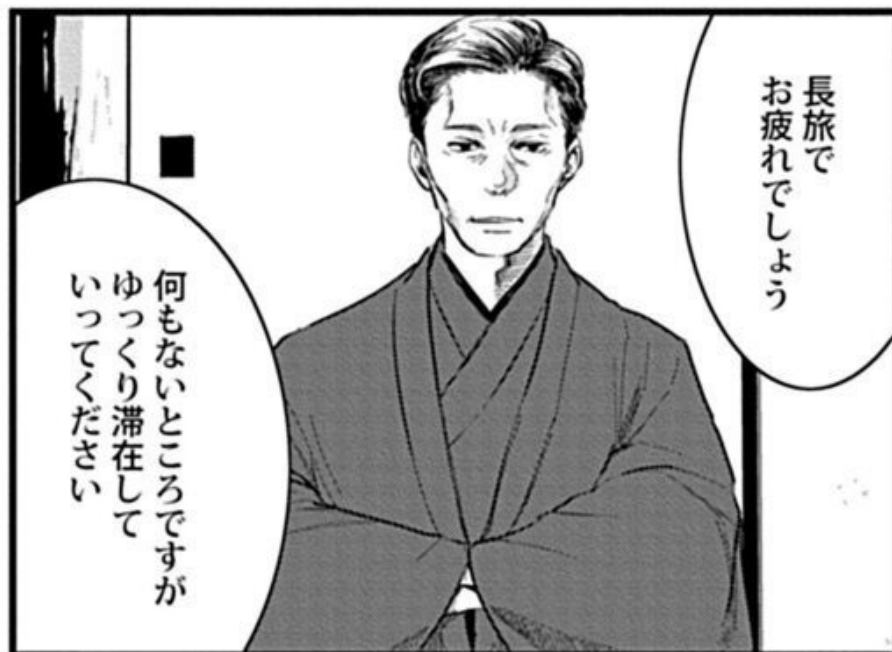












長旅で  
お疲れでしょう

何もないところですが  
ゆっくり滞在して  
いってください



よく  
いらつしやいました



こちら早坂家の  
十四代当主の  
早坂悟さん

すごい

歴史が  
あるんですね

なに

古いだけの  
つまらん家です



ここいらは古い因習も  
迷信深い年寄りも  
多い

面白いかどうかは  
ともかく話は聞ける  
でしょうな



志村教授は  
古い話を調べられて  
るんではしたかな？

そうですね  
言い伝えや民話  
説話などです

なにぶん  
今日は夜も深い

建物も立派ですね  
年季ありそうだなあ

築は  
三百年ほど

江戸時代からと  
聞いております

古い家ですので  
不便も多いかと

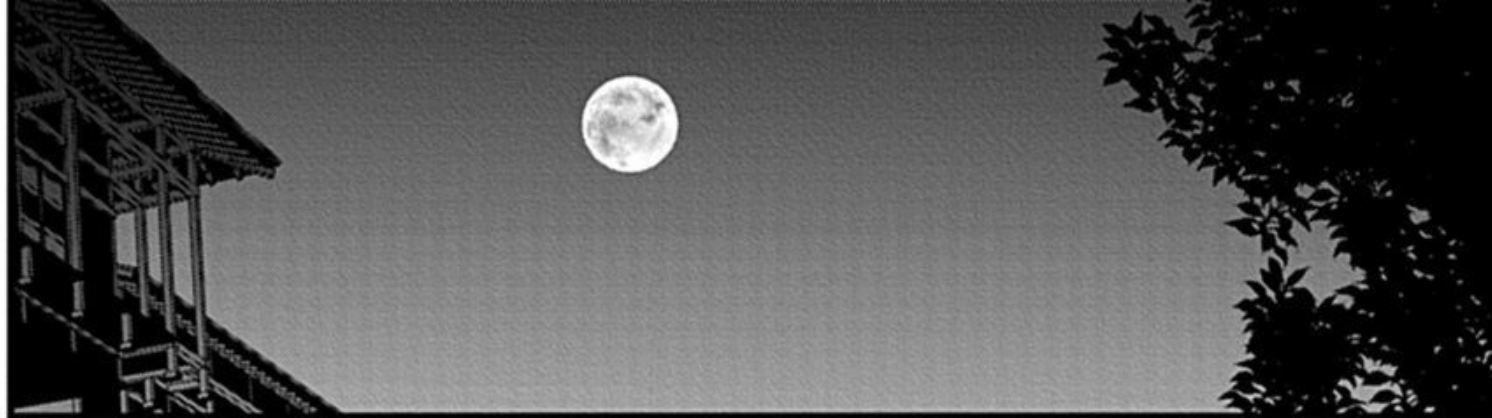
早坂より皆さんの  
お世話をするよう  
言付かっております

おのでも  
小野寺と申します

おやすみになるのが  
いいでしょう

それでは

なにか  
ありましたら







そして

その月明かりに  
照らされる…



月明りが  
こんなに  
はつきりと…



…あか  
灯りが…

蔵？

離れか…？







ほうじや

その婆様がの

三十年も  
経つとったのによ

姿形も変わらず  
帰ってきんさった  
そうでよ

なるほどなるほど  
興味深いお話  
ですね

そのお話を伺ったのは  
どなたからですか？

ワシが五つ六つ  
ぐらいのこと  
じゃが

あれはひい婆様から  
だったかの

それはまた  
随分と昔から  
あるお話ですね

話長くて  
ごめんなさい  
ねえ

おばあちゃん  
久々に昔話できるて  
張り切りよるんよ

いいえ

研究じゃなくても  
こういうお話伺うの  
僕大好きなんで

そういえば  
この辺りは  
白蛇信仰もあるって  
伺ったんですが

村上さん  
蛇の神様のお話とか  
聞いたことありますか？



アンタ方  
早坂の家に泊まっと  
りんさったかの…

ええ  
そうです

…あそこの家は  
好かんわ…

ちよつと  
おばあちゃん

欲の皮突つ張らかして  
蛇の神様娶つたに  
前の旦那さんになってから  
迷信だなんだ言うて



ごめんなさいねえ

年寄りには昔のこと  
大げさに言いよるけん



早坂さんのとこ

昔村の利水<sup>りすい</sup>の顔役で  
羽振りがいい時期が  
ありんさったけん

良く思わん人等は  
口さがなく言うんだわ…

蛇のお嫁さんもらって  
家をおおきゅうしたやら  
悪いことして稼ぎんさったやら





タタリ？

私もよう知らんけど子が丈夫に育たんとか  
女の人が短命だとか

あそこの奥さんも

お産で亡<sup>の</sup>うなりんさつとるしねえ

そりやまた  
典型的な  
異類婚姻譚<sup>いる</sup>だねえ



鶴女房なんかの  
アレですね

そうだね  
異形との婚姻譚は  
世界でも枚挙<sup>まいきよ</sup>に暇<sup>いとま</sup>がない

僕もさっきのお宅で  
同じような話を聞いたよ

こういう閉ざされた  
コミュニティだと族外婚が  
起源になつてゐるケースが  
あるかもねえ

あとは水源が豊富な  
この辺りだと  
蛇や龍との関係性だね

江戸中期辺りから  
神社の資料には早坂さんの  
名前が出てきてる  
その前後で利水に  
関わったんだろうね



崇りの話は  
どうなん  
でしょうね

さてねえ  
あるいは話の元となる  
何かがあったのかもね

その辺も含めて  
もう少し話を集めたいなあ

じゃあ僕  
こちらの方の  
お宅を

うん  
ご苦労様

あそうそう  
高輪くん



村の人から  
伺ったんだけど  
その山の中腹に温泉  
湧いてるらしいよ



結構<sup>けものみち</sup>獣道で険しいらしいから  
僕は遠慮しておくけど

確かに  
こりゃあ…



また

あの白い花…

それに

すず

イオウの匂い…

あった







「地元の人も  
ほとんど来ないらしいよ  
貸し切りだね」  
混浴だぞ！  
うんぬん

とは言ってたけど  
一応…

おしゃん



水音…

…













山には  
白い蛇の姿をした  
神様がいて

ある家がその神様を  
嫁として娶ったそうです

そのおかげで  
家は栄えました

でも

だんだん時が経って  
人は神様のことを  
忘れてしまつて

神様を祀<sup>まつ</sup>るのを  
疎<sup>おろそ</sup>かにしてしまいました

そのせいで  
神様は怒って

その家に  
神様の姿に似た子供が  
産まれるよう祟<sup>たた</sup>ったんです



白蛇の嫁と  
崇り…

僕みたいに

…信じますか？

それじゃ

この世…

…興味深い  
話だけど…

君の髪や肌は  
崇りのせいなんかじゃないよ  
ましてや誰が悪いという  
ものでもない

こういう山村では  
異質に扱われる  
ことも多いのは  
事実だけど

君のそれは  
れっきとしたと言うと  
おかしいけれど

先天性色素欠乏症という  
病気なんだ

……

…病気…

おじさんは  
お医者さん？

高輪と  
言います  
匠者じゃいよ

大学で民俗学を  
勉強してるんだ

民俗学？

今みたいな言い伝えや  
古いお話を勉強する  
学問だよ

じゃあ先生だ

いやー

そんな  
たいしたもの  
じゃ…

胸が高鳴るのは

もし

しばらく  
村にいるのなら

またお話  
聞かせてもらって  
いいですか？

あああ

もちろん！

その外観の  
せいではなく

きっと  
彼があまりに綺麗に  
笑うからだ

行かないや

もっ



昼間はあまり  
出歩けないから

夜に

家の離れで

…あの

君の名前は？

透とろです

早坂の家の

ああ

やいばー

To be continued

# Adam [ ア ダ ム ]

## 群れ落ちる白い花 1【R18 版】

電子発行 2021 年 8 月 2 日

著者

つくも号

© TsukumoGO 2021

レーベル

アダムコミックス

発行

ブレインハウス

本作品はフィクションであり、実在の人物・団体・地名とは一切関係ありません。  
本書の無断転載・複写・複製・上演・放送・アップロード・デジタル化を禁じます。

本書を代行業者等第三者に依頼しスキャンや電子化することは、  
たとえ個人でのご利用であっても著作権法上認められておりません。